

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本デルモンテ株式会社 長野工場							
代表者名	氏名	北倉 芳久	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県千曲市桜堂485番地							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	10 飲料・たばこ・飼料・製造業						
主たる事業の概要	1011 清涼飲料水製造業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	3073	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	6	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

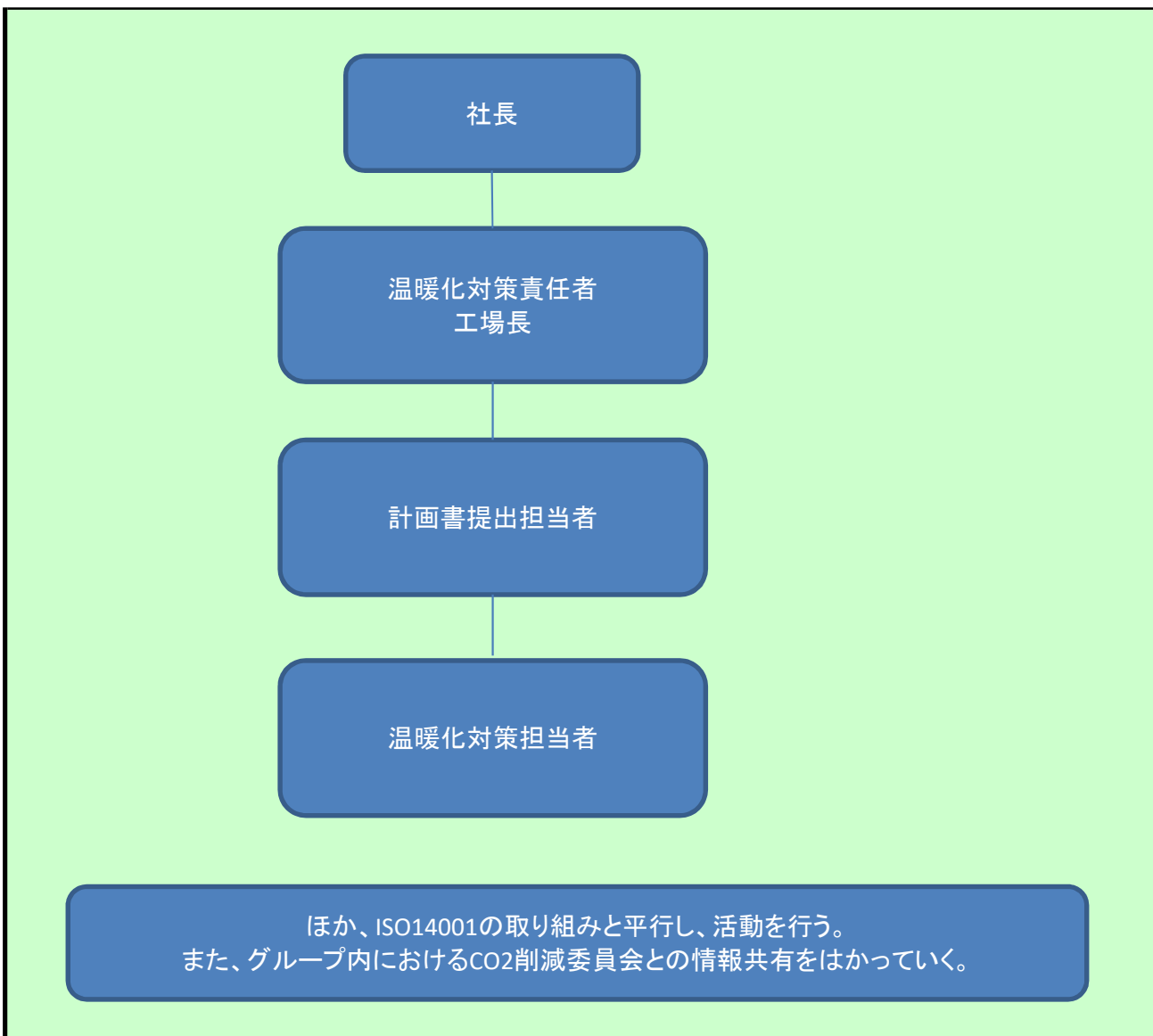
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	長野工場 製造管理部 保全グループ 担当者まで (連絡先：026-272-2255 閲覧可能時間：8時10分～17時00分)
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

CO2総排出量を前年度を超えないようにする。
CO2排出原単位を前年比1%削減する。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	6,500	t-CO ₂	生産量	40.695	単位	千 t	
25 年度	調整後排出量	6,013	t-CO ₂	基準原単位	159.72	t-CO ₂ /	千 t	
目標年度	目標排出量	6,305	t-CO ₂	目標原単位	154.93	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28 年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	前年度実績を超えないようにする。 前年比1%削減 3年で3%削減を目標とする。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	6,426	t-CO ₂	生産量	41.455	単位	千 t	
	調整後排出量	6,413	t-CO ₂	原単位	155.01	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26 年度	削減率	1.13	%	削減率	2.94	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・可変風量制御方式の導入(空調機更新) ・飲料ライン充填/後パス温度低減 ・ボイラー台数制御改善効率向上 ・ボイラー給水配管凍結対策改善 その他、蒸気漏れ修理実施 等 							
第二年度	排出量	5,980	t-CO ₂	生産量	38.68	単位	千 t	
	調整後排出量	5,970	t-CO ₂	原単位	154.59	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27 年度	削減率	8.00	%	削減率	3.21	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量の減少に伴う、エネルギー使用量の減少 ・ボイラー台数制御改善効率向上(ボイラー熱損失減少) ・飲料ラインシリンクソノのハイブリッド方式(加熱蒸気+飽和蒸気)への更新による蒸気使用量削減 ・缶ライン製造作業に適応した蒸気供給バルブの開閉操作による蒸気使用量削減 ・照明設備のLED化実施。(2015年度内で、16工程、17か所交換実施) その他、蒸気漏れ修理実施 等 							
第三年度	排出量	6,064	t-CO ₂	生産量	38.86	単位	千 t	
	調整後排出量	6,238	t-CO ₂	原単位	156.05	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28 年度	削減率	6.70	%	削減率	2.29	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量の減少に伴う、エネルギー使用量の減少 ・照明設備のLED化実施。(2016年度内で、72工程、234か所交換実施) ・チラーユニット待機電力の削減 ・場内槽水ポンプインバーター吐出圧力一定制御の実施による電気使用量削減(ポンプ15kw停止、22kwインバーター化) ・缶ラインPB製品の後殺菌方法変更による蒸気使用量削減 その他、蒸気漏れ修理実施 等 							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	19	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
28年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	23	t-CO ₂	削減率	-21.06	%
26年度						
排出量等の増減理由	製品用材料の購入（現地契約等）への巡回が増えたこと及び、群馬工場⇄長野工場への移動回数も増えた為、本年度は一時的に社用車の使用が増え、排出量が増加した。					
第二年度	排出量	27	t-CO ₂	削減率	-42.11	%
27年度						
排出量等の増減理由	製品用材料の購入（現地契約等）への巡回が増えたこと及び、製品用材料の購入へ行く為の社用車の台数が2台増え、合計4台⇒6台になった。					
第三年度	排出量	24	t-CO ₂	削減率	-26.32	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	製品用材料の購入（現地契約等）への巡回が増えた為、排出量が基準年度より増加した。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330201 可変風量制御方式の導入(空調機更新)	26	20	26	6.7
2	エネ起	320211 飲料ライン充填/後パス温度低減	26	12	26	24.1
3	エネ起	320204 飲料ラインシュリンクトンネル更新	26	46	26~27	26.1
4	エネ起	370799 トマト液冷却設備電力削減			26	0.9
5	エネ起	320102 ボイラー台数制御改善効率向上			26~27	64.1
6	エネ起	380752 照明灯LED化			26~28	18.55
7	エネ起	320206 ボイラー給水配管凍結対策改善			26	5.6
8	エネ起	320208 缶ライン製造作業に適応した蒸気供給バルブの開閉操作による蒸気使用量削減			27	11.4
9	エネ起	370702 チラーユニット待機電力の削減			28	0.74
10	エネ起	370702 場内槽水ポンプインバータ吐出圧力一定制御の実施による電気使用量削減(ポンプ15kw停止、22kwインバータ化)			28	38.19

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	487		13	10	-174
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
11	エネ起	320204 缶PB製品の後殺菌方法変更による蒸気使用量削減			28	145.74
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂					
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	6,500	1	6,426	1	5,980	1	6,064
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	6,500	1	6,426	1	5,980	1	6,064

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	4	4	6	6
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率84.3% (7/1現在) 2km未満の方には徒歩通勤をお願いしています。
公共交通機関の利用促進	なし
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	効率化のため委託している

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	平成13年7月
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	環境教育の実施、断熱塗装による断熱管理ほか
第一年度実績	環境教育の実施、壁隙間埋めによる断熱性向上ほか
第二年度実績	環境教育の実施、壁隙間埋めによる断熱性向上ほか
第三年度実績	環境教育の実施、壁隙間埋めによる断熱性向上ほか

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	照明器具のLED化、インバータエアコンへ変更(更新時)	91.3
その他	定期的に安全パトロール、現場巡視などを行っています。	